

## 製品名: PPP4C ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe87146

研究使用のみ

### 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,FC 1:200-1:500
分子量	Calculated MW:35 kDa; Observed MW:35 kDa

### 抗原情報

遺伝子名	PPP4C
別名	PP4; PPX; PP-X; PP4C; PPH3; PPP4
遺伝子 ID	5531
SwissProt ID	P60510
免疫原	ヒト PPP4C の組み換えタンパク質

### 背景

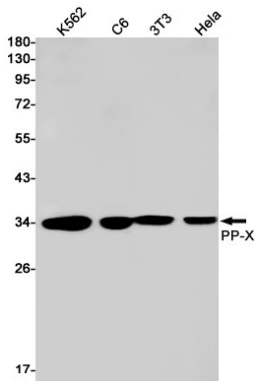
中心体における微小管の組織化、スプライソソーム snRNP の成熟、アポトーシス、DNA 修復、腫瘍壊死因子 (TNF) - $\alpha$  シグナル伝

達、c-Jun N 末端キナーゼ MAPK8 の活性化、ヒストンアセチル化の調節、DNA 損傷チェックポイントシグナル伝達、NF- $\kappa$ B の活性化、細胞遊走など、多くのプロセスに関するタンパク質ホスファターゼ。PPP4C-PPP4R1 PP4 複合体は、HDAC3 の脱リン酸化と調節に関与している可能性がある。PPP4C-PPP4R2-PPP4R3A PP4 複合体は、DNA 複製中に生成され、DNA 二本鎖切断修復に必要な、Ser-140 がリン酸化されている H2AFX ( $\gamma$ -H2AFX) を特異的に脱リン酸化する。

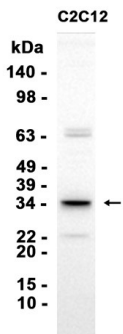
## 研究分野

-

## 画像データ



PP-X 抗体 (1:1000 希釈) を使用した K562、C6、3T3、Hela 細胞溶解物中の PP-X のウェスタンブロット検出。



AMRe87146 を 1:1000 で使用して C2C12 細胞抽出物をウェスタンブロット分析しました。